

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2023年 10月 6日

NPO法人
 恵庭市市民活動センター運営協議会
 理事長 川原 淳一 様

団体名 私たちのまちで骨髄ドナー制度を考え
 代表者 白 崎 亜 紀 子
 住 所
 電 話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	骨髄等移植に関する普及啓発セミナー		
協働事業費の総額	250,000円	補助金交付申請額	150,000円
事業実施団体数	単独 ・ 複数 (団体数 2)	本事業での提案回数	1回目
協働する担当課	保健福祉部 保健課 担当者：福井 主査 (TEL：0123-25-5700)		
提案事業の内容	実施期間 2023年11月 7日から 2023年11月 7日まで 本年度、道内自治体において初となる「骨髄ドナー助成制度」が創設されたことを記念し、骨髄ドナーと患者を取り巻く現状や課題の共有と、制度導入へのさらなる理解を深める機会として、フリーアナウンサーの笠井信輔氏をお招きし、講演会とトークセッションを実施することで、広く来場者へ「骨髄ドナーを支える環境づくり」の重要性の理解促進へとつなげるセミナーを開催します。 ※別紙 企画骨子添付		
提案事業の目的及び期待される効果	セミナーを通じて、骨髄ドナー登録の重要性や、ドナーと患者の移植達成率の低さなどの現状や課題について共有し、支え合い社会の足掛かりとなる「ドナー助成制度」の活用促進および「休暇制度」導入の普及啓発を目的とします。 広く来場者へ「骨髄ドナーを支える環境づくり」への理解が深まることが期待できます。		
提案事業の役割分担	申請団体が担う役割：本セミナーの企画・運営等 担当課が担う役割：本セミナーの企画・運営支援等 連携団体が担う役割：本セミナーの広報連携、事業の相互連携等		
添付書類	(1) 団体概要調書（様式第2号） (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書（様式第3号） (3) 規約、会う則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書		



団体概要調書

団体名	(ふりがな) わたしたちのまちでこつすいどなーじょせいせいどをかんがえるかい		
	私たちのまちで骨髄ドナー助成制度を考える会		
代表者氏名	(ふりがな) しらさき あきこ		
	白崎 亜紀子		
事務所の所在地	[REDACTED]		
	電話	[REDACTED]	FAX [REDACTED]
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏名	(ふりがな) みうら しんご	電話 [REDACTED]
		三浦 真吾	FAX
設立年月日	2021年 7月 1日	会員数	10名
メールアドレス	[REDACTED]		
団体ホームページ	sites.google.com/view/watamachi ※当会の会則を別添。		
団体の目的	当会は、恵庭市において（1）造血幹細胞を取り巻く現状に関する情報収集、（2）骨髄ドナーおよび患者に関する勉強会の開催等を通じて、骨髄ドナー助成制度導入のために必要な事業を行うことを目的とします。		
主な活動内容及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年9月15日 第1回 勉強会開催@えにあず 参加約75名 ・2022年11月10日 第2回 勉強会開催@えにあず 参加約60名 ・2023年2月27日 オープンMTG 開催@えにあず 参加約15名 		
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	<ul style="list-style-type: none"> ・有 [補助金等の名称：] [金額 : 0円] ・無 		

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

団体概要調書

団体名	(ふりがな) エヌピーオーホウジン オハナ			
	NPO 法人 おはな			
代表者氏名	(ふりがな) いしがみ かずみ			
	石上 一美			
事務所の所在地	[Redacted]			
	電話	[Redacted]	FAX	無し
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方			
	氏名	(ふりがな) いしがみ かずみ	電話	[Redacted]
		石上 一美	FAX	無し
設立年月日	2020 年 4月 24日	会員数	10名	
メールアドレス	[Redacted]			
団体ホームページ	http://www.ohana13.com/			
団体の目的	地域で暮らすさまざまな悩みや問題を抱えている子育て世代、障害者、若者及びその家族等が、気軽に集える居場所としてサロンを開設し、地域住民からからの相談や、育児の悩み、ひきこもり等昨今の地域住民等が抱えるさまざまな悩みに対する家族支援等の事業を広く行い、現代社会における教育問題や社会問題の改善ならびに社会全体の利益に寄与することを目的とする			
主な活動内容及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ●患者・家族遺族会 ●シッター・送迎・家事代行サービス ●カウンセリング・不登校訪問支援 ●セミナー・研修の企画運営など まちチャレ助成金事業 2020年度 がんサロン「サロンおはな～がん患者家族遺族会～」 2021年度 がんサロン「サロンおはな～がん患者家族遺族会～」 2022年度 依存症予防啓発普及事業			
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	・有 [補助金等の名称:] [金額:] <input checked="" type="radio"/> 無			

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団 体 名	私たちのまちで骨髄ドナー助成制度を考える会
協働事業の名称	骨髄等移植に関する普及啓発セミナー

1. 収 入 （単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
まちチャレ交付金	150,000	NPO 法人おはな との共催申請。
自主財源	100,000	わたまち寄付金より
合 計	250,000	

2. 支 出 （単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
講師諸謝金	200,000	笠井信輔氏 講師料（交通費含む・税込み）
広告宣伝費	34,000	チラシ印刷¥23,000 各種デザイン、SNS バナー制作費¥11,000
通信費	3,440	郵送代（印刷物、礼状・報告書等）
諸経費	12,560	演者ケータリング、受付備品、消耗品等
		※会場費は、協働課にて負担
合 計	250,000	

備考）補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。